



滿洲製鐵株式會社法

第一條 滿洲製鐵株式會社ハ製鐵事業ノ發展確立ヲ圖ルヲ以テ其ノ使命トス

第二條 滿洲製鐵株式會社ハ鐵鋼及其ノ副產物ノ製造及販賣並ニ鐵礦、石炭其ノ他製鐵事業ニ必要ナル礦物ノ採掘及販賣ニ關スル事業ヲ營ムヲ以テ目的トス

滿洲製鐵株式會社ハ經濟部大臣ノ認可ヲ受ケ前項ノ事業ニ附帶スル業務ヲ營ムコトヲ得

第三條 滿洲製鐵株式會社ハ本店ヲ鞍山市ニ置ク

第四條 滿洲製鐵株式會社ノ資本ノ額ハ七億四千萬圓トス

第五條 滿洲製鐵株式會社ノ株式ハ記名式トシ一株ノ金額ヲ五拾圓トス

第六條 滿洲製鐵株式會社ノ株式ハ會社ノ同意ヲ得ルニ非サレハ之ヲ他人ニ譲渡スルコトヲ得ス

第七條 滿洲製鐵株式會社ニ理事長一人、理事五人以上及監事三人以上ヲ置ク

第八條 理事長、理事及監事ハ株主總會ニ於テ之ヲ選任ス

理事長及理事ノ任期ハ三年、監事ノ任期ハ二年トス

第九條 理事長ハ滿洲製鐵株式會社ヲ代表シ其ノ業務ヲ綜理ス

理事長缺員ノトキ又ハ事故アルトキハ理事中ノ一人其ノ職務ヲ代行又ハ代理ス

理事ハ理事長ヲ輔佐シ滿洲製鐵株式會社ノ業務ヲ掌理ス

監事ハ滿洲製鐵株式會社ノ業務ヲ監査ス

第十條 理事長及常務ニ從事スル理事ハ他ノ業務ニ從事スルコトヲ得ス但シ經濟部大臣ノ認可ヲ受ケタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第十一條 滿洲製鐵株式會社ハ毎營業年度ノ初ニ於テ事業計畫ヲ定メ之ヲ經濟部大臣ニ提出スヘシ之ヲ變更セントスルトキ亦同シ

第十二條 理事長、理事及監事ノ選任及解任、定款ノ變更、利益金ノ處分並ニ合併及解散ノ決議ハ經濟部大臣ノ認可ヲ受ケタルニ非サレハ其ノ效力ヲ生セス

第十三條 滿洲製鐵株式會社ハ拂込ミタル株金額ノ三倍迄社債ヲ募集スルコトヲ得

第十四條 滿洲製鐵株式會社第二回以後ノ株金ノ徵收又ハ社債ノ募集ヲ爲



サントスルトキハ經濟部大臣ノ認可ヲ受クヘシ

第十五條 滿洲製鐵株式會社ノ社債權者ハ會社ノ財産ニ付他ノ債權者ニ先
チテ自己ノ債權ノ辨濟ヲ受クル權利ヲ有ス

第十六條 滿洲製鐵株式會社ハ社債募集ノ委託契約ニ別段ノ定テ爲シタル
トキハ委託ヲ受ケタル會社ニ以上アル場合ト雖モ其ノ一ヲシテ委託ヲ受
ケタル會社ノ權限ニ關スル行爲ヲ爲サシムルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テハ其ノ旨ヲ社債申込證、債券及社債原簿ニ記載シ且社
債ノ登記ヲ爲ス場合ニ之ヲ登記スヘシ

第十七條 滿洲製鐵株式會社其ノ重要財産ヲ他人ニ讓渡シ又ハ之ヲ擔保ニ
供セントスルトキハ經濟部大臣ノ認可ヲ受クヘシ

第十八條 滿洲製鐵株式會社事業設備ノ新設、擴張若ハ變更ヲ爲シ又ハ生
産方法ヲ變更セントスルトキハ經濟部大臣ノ認可ヲ受クヘシ其ノ事業ノ
全部又ハ一部ヲ廢止、讓渡又ハ委託セントスルトキ亦同シ

第十九條 經濟部大臣ハ滿洲製鐵株式會社ノ業務ニ關シ監督上又ハ公益上
必要ナル命令ヲ爲スコトヲ得

第二十條 經濟部大臣ハ滿洲製鐵株式會社ノ決議カ法令若ハ定款ニ違反シ
又ハ公益ヲ害スト認ムルトキハ其ノ決議ヲ取消スコトヲ得

經濟部大臣ハ理事長、理事又ハ監事ノ行爲カ法令、定款若ハ本法ニ依ル
命令ニ違反シ又ハ公益ヲ害スト認ムルトキハ之ヲ解任スルコトヲ得

第二十一條 滿洲製鐵株式會社ニ非ナル者ハ滿洲製鐵株式會社又ハ之ニ類
似ノ名稱ヲ以テ其ノ商號ト爲スコトヲ得ス

附 則

第二十二條 本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第二十三條 滿洲製鐵株式會社ハ株式會社昭和製鐵所、株式會社本溪湖煤
鐵公司及東邊道開發株式會社ヲ合併シテ之ヲ設立ス

第二十四條 株式ノ割當ハ株式會社昭和製鐵所、株式會社本溪湖煤鐵公司
又ハ東邊道開發株式會社ノ株式一株ニ對シ之ト額面及拂込金額ヲ同シク
スル滿洲製鐵株式會社ノ株式一株トス

第二十五條 政府ハ設立委員ヲ命シ滿洲製鐵株式會社ノ設立ニ關スル一切
ノ事務ヲ處理セシム

第二十六條 設立委員ハ定款ヲ作成シ經濟部大臣ノ認可ヲ受クヘシ前項ノ
定款ニ付テハ會社法第十四條ノ規定ヲ適用セス



第二十七條 設立委員ハ遲滯ナク株式會社昭和製鐵所、株式會社本溪湖煤鐵公司及東邊道開發株式會社ヲシテ其ノ債權者ニ對シ合併ニ異議アラハ三週間以内ニ之ヲ述フヘキ旨ヲ公告セシムヘシ

社債權者ニ對シテハ社債權者集會ノ招集權者ヲシテ社債權者集會ノ招集ニ代ヘ決議ノ目的タル事項及當該事項ニ付異議アラハ三週間以内ニ之ヲ述フヘキ旨ヲ公告セシムヘシ此ノ場合ニ於テハ社債權者ハ社債權者集會ノ決議ニ代ヘ經濟部大臣ノ認可ヲ受ケ異議ヲ述フルコトヲ得前項ノ期間内ニ異議ヲ述ヘタル社債權者ノ議決權ノ數力議決權ノ總數ノ五分ノ一二滿タサルトキハ前項ノ期間滿了ノ日ノ翌日當該事項ニ付社債權者集會ノ決議アリタルモノト看做ス

第二十八條 前條第二項及第三項ノ場合ニ於テハ公告及異議並ニ認可ニ關スル書類ハ之ヲ社債權者集會ノ議事録ト看做ス

第二十九條 設立委員ハ第二十七條ノ手續終了後遲滯ナク創立總會ヲ招集スヘシ

前項ノ場合ニ於テハ會社法第八十七條第一項ノ規定ニ依ラサルコトヲ得第三十條 設立委員ハ滿洲製鐵株式會社ノ設立ノ登記並株式會社昭和製鐵

所、株式會社本溪湖煤鐵公司及東邊道開發株式會社ノ解散ノ登記ヲ了シタルトキハ遲滯ナク其ノ事務ヲ滿洲製鐵株式會社理事長ニ引渡スヘシ

第三十一條 株式會社昭和製鐵所ノ社債權者ハ引續キ滿洲製鐵株式會社ノ財産ニ付他ノ債權者ニ先チテ自己ノ債權ノ辨濟ヲ受クル權利ヲ有ス

第三十二條 株式會社昭和製鐵所法其ノ他ノ法令ニ依リ株式會社昭和製鐵所、株式會社本溪湖煤鐵公司及東邊道開發株式會社ニ對シテ爲サレタル許可、認可又ハ處分等ハ滿洲製鐵株式會社ニ對シテ爲サレタルモノト

看做ス

第三十三條 株式會社昭和製鐵所法ハ滿洲製鐵株式會社成立ノ日ニ之ヲ廢止ス

